

附中だより 1月号

令和7年1月15日

兵庫教育大学附属中学校

校長 富田 明徳

謹 賀 新 年



3学期は、学年の締めくくりであり、4月から始まる進学や進級に向けた準備期間です。終業式で「できるためにどうするか」の発想で、これから物事から逃げずに正面からぶつかっていく、挑戦をして欲しい」というお話がありました。3年生は、いよいよ自分が納得のいく進路を選び、社会に一步近づくための挑戦期間です。そのためにも、体調に充分気を付けて、これまで努力してきた成果を出し切れるよう頑張ってください。推薦などで、他の人より早くに進路が決まる人もいますが、すぐ側で目標達成のために挑戦を続けている仲間がいることも忘れないでください。その思いやりを持てるのが、本当の仲間です。

2年生は自分の未来を切り拓いていく準備期間です。先輩たちから受け継いだ「附属中の伝統と誇り」というバトンをしっかり握りしめ、自分なりの新たな挑戦を始めてみてください。たとえば、自分の将来の進路を具体的に考えると、来年行く修学旅行でやりたいことはどんなことなのかを考える。また、それはどうすれば実現できるのか、実現するにはどんな準備や学びが必要なのかなど、仲間としっかりと話し合いながら着実に積み上げていくのもいいでしょう。そうすれば、きっと実現に近づくはずですよ。

次に1年生。学校の中堅となり、学習する内容も難しくなるだろうし、部活でも中心を担うことも多くなるでしょう。これまで取り組んできたキャリア探究総合の内容にも深みが必要となります。きっと今までと違う体験も待っているはずです。とはいえ、どの学年の人にも言えることですが、挑戦はいつもうまくいくことばかりではありません。でも、そんな時こそ、あなたなりの持ち味をいかし、不器用でもいいから、地道に努力を積み重ね、ピンチをチャンスに変えていってください。決して誰かと比べたり、他人からの評価を気にしすぎたりする必要はありません。ただ、その時に肝に銘じて欲しいのは「ライバルは、自分自身だ」ということです。自分の甘い気持ちや、その場の雰囲気流されないこと。失敗しても、困難な状況が起こっても、あきらめず、くじけず、1歩ずつ当たり前のことを当たり前にこつこつと続けること。支えてくれている家族や仲間への感謝の気持ちを忘れないこと。しんどい状況に置かれている人や仲間思いを馳せ、何事もきれいに終わらず、自分事として考え、行動すること。それを心掛けてください。

2025年は、去年できたことは「もっとうまくできるように」、できなかったことは「少しでもできるように」、「仮にできなかったことがあれば、素直に見つめ直し、心折れず」に挑戦を続けてください。今年もみなさんの頑張りを、先生方と全力で応援していきたいと思っています。(副校長長見元雄)

生徒会任命式が行われました

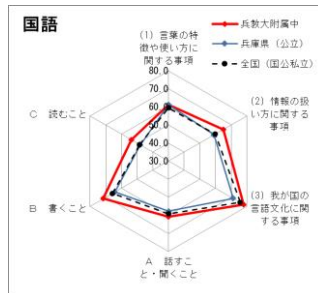
始業式で任命式が行われましたので〇〇新会長の挨拶を一部紹介いたします。・・・前略・・・僕が行っていく1番大きな活動としては、先生と生徒のコミュニケーションを充実させていくことです。行事などの重要な決めごとをスムーズに行っていくためには、日々の何気ない会話を先生と生徒、生徒同士で行っていくことです。そしてそれらを理解したうえで話し合いを進められるかがとても大切だと思っています。そのために僕が生徒と先生のコミュニケーションをつなぐ人物となって、生徒の思いをつたえていけるように生徒会一丸となって、生徒がのびのび活躍できる場面を作りたいと思います。中略・・・附属中生が一人でも多く笑顔になるきっかけをつくっていきけるようにこの一年全力で努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査結果から

昨年7月末に発表された、全国の中学校3年生を対象に実施された本調査結果について、本校中学校の現3年生の状況を報告いたします。まず、平均正答率については、今年も全国平均と兵庫県平均を上回る結果となりました。以下教科別の特徴と児童生徒質問紙調査の状況です。

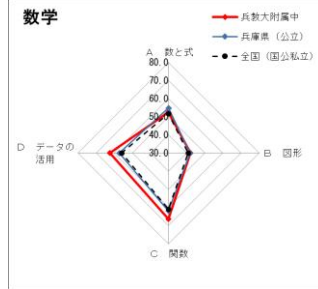
【国語】

成果としては、平均正答率が全国平均よりも3.6ポイント高く、特に『情報の取り扱いに関する事項』の正答率が高く、「意見と根拠」「具体と抽象」などの情報と情報の関係について理解することができていることが分かりました。また、記述式の正答率は、兵庫県平均よりも10ポイント以上高く、これは、本校の特色である探究総合の実践の成果ではないかと捉えています。また、「資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるか」という設問では、ほぼ全国平均という結果でした。今後は話の要点を明らかにした上で、説明を補足し、中心となる事柄を強調できるような力を一層伸ばしていきます。



【数学】

数学科においても、成果としては平均正答率が全国平均よりも4.0ポイント高い結果となりました。特に、「関数」「データの活用」においては全国平均よりも5ポイント以上高い平均正答率となりました。



また、観点別に見ると、「知識・技能」よりも「思考・判断・表現」を問う問題の平均正答率が高かったです。

しかし、基礎的な知識や技能が不足し、生徒の16%程度が周囲と学力差が開いていると読み取れるため、知識を活用する課題(パフォーマンス課題)に取り組む時間を設定します。また、授業のはじめに数分間、既習事項を学習し直す時間とそのための課題を設定しています。

【質問紙調査】

以下の項目のように良いところと課題のあるところ双方の傾向が見られます。これらの結果を踏まえ今後の取組に生かし、学校改善に努めてまいりたいと考えております。

- ◎毎日同じくらいの時刻に起きている 88.2% 全国80.7%
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている 53.9% 全国:72.1%
- ◎分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することはできている 88.2% 全国:78.7%
- ◎総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる 89.2% 全国:82.2%
- 学校に行くのは楽しい 81.4% 全国:84.0%
- 将来の夢や目標をもっている 33.3% 全国:36.1%

今後の主な行事予定

- 16日(木) 第5回PTA運営委員会
- 17日(金) 入試準備、午前中授業 13:35 下校
- 18日(土) 附属中学校入試
- 20日(月) 実力テスト
- 24日(金) 前日準備 13:30 下校
- 25日(土) 研究発表協議会 11:50 下校
- 27日(月) 振替休業日
- 2月
- 6日(木) 第6回PTA運営委員会
- 10日(月) 私立高校入試 17日(月) 公立特色推薦入試
- 18日(火)~20日(木) 期末テスト



1/9 雪の運動場